

令和 8 年度 医療安全セミナー・ワークショップ

●医療安全セミナー（オンデマンド）

定員 1500 名

	プログラム	講師等	講演時間
1	・医療事故性の判断と定型医療事故調査手法 (R7 年度配信動画)	長尾 能雅氏 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授	60 分
2	・医療対話推進者の業務指針及び養成のための研修プログラム作成指針－説明と対話の文化の醸成のために－ について	稲葉 一人氏 中京大学法務研究所	45 分
3	・医療事故対策として重要な医用テレメータの電波管理 ～医用テレメータの電波管理実践ガイドの発行～	加納 隆氏 滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻 客員教授 総務省関東地域の医療機関における電波利用推進協議会 座長	60 分
4	・令和 8 年度医療安全に係る制度改正について	厚生労働省 医療安全推進・医務指導室	45 分
5	・千葉県医療安全相談センターの概要と相談事例について	藤原 健太郎氏 千葉県健康福祉部医療整備課 医療指導班 班長	30 分
6	・医療安全支援センターの取り組み－医療機関との協働に向けて－（R7 年度配信動画）	荒神 裕之氏 医療の質・安全学会	45 分

●医療安全ワークショップ

参加者：60 名

時間	テーマ 講師等
9：30～17：30	【テーマ】 ・定型医療事故調査手法について ～ばらつきを生まない医療事故調査とは～ 【講師】 ・名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授 長尾能雅先生

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・北里大学病院 医療安全推進室 診療講師 山本啓央先生・横浜市立大学附属病院 医療安全管理部 講師 植田瑛子先生・横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部 部長
診療教授 病院長補佐 菊地龍明先生 |
|--|---|

【内容】

- ・院内の事故調査を円滑に行うために何をすべきか、
- ①医療事故該当性の判断方法
 - ②院内事故調査の手法
 - ③報告書の作成方法 についてワークショップ形式で学びます。